

UN
environment
programme



finance
initiative

Principles for
Responsible Banking

Responsible Banking Progress Statement for PRB Signatories



Summary template

[Sumitomo Mitsui Trust Group] FY2024

Principle 1: Alignment	Principle 2: Impact & Target Setting	Principle 3: Clients & Customers
<p>Content 当社は、2015年度に初めてマテリアリティを特定し、以後、2019年度、2022年度に改定を実施しています。現行のマテリアリティの特定にあたっては、世界経済フォーラム国際ビジネス協議会の提言をもとに、世界4大会計事務所が中心となって取りまとめた「持続可能な価値創造のための共通指標と一貫した報告を目指して」における共通指標(以下、コモンメトリクス)を起点としました。第一段階として、コモンメトリクスの「地球」「人」「豊かさ」「ガバナンス」に分類される論点に基づいて「マテリアリティテーマ」を特定し、第二段階として、当社パーパスと経営戦略上のテーマに沿って、マテリアリティテーマを、実現を目指す社会と価値に関する項目に整理し、マテリアリティとして特定しています。 マテリアリティおよびマテリアリティテーマについては、経済や社会の情勢変化に伴って生じる論点を適切に汲み取るため、定期的にレビューを実施し、取締役会に報告しています。</p>	<p>Content 以下ステップを通じて、重要なインパクトエリアを特定し、それを測定・管理するKPIを設定しました(2023年5月経営会議決議、取締役会報告)。 UNEP FI(国連環境計画・金融イニシアティブ)が提供するインパクト分析ツールを用い、インパクトエリアを特定。</p> <p>法人事業</p> <ul style="list-style-type: none">・ポジティブインパクト:資源循環、インフラ整備・ネガティブインパクト:気候変動 <p>個人事業</p> <ul style="list-style-type: none">・ポジティブインパクト、ネガティブインパクト:金融包摂(金融包摂については、当社の信託銀行としてのビジネスモデルを踏まえ、認知症等により資産管理が困難になることが社会課題となっており、この点を重大なネガティブインパクトとして認識するもの) <p>この結果を踏まえ、インパクトの大きさ、影響範囲、当社業務が与える影響度の観点から優先づけを行い、最終的に気候変動と金融包摂を重要なインパクトエリアとして特定し、測定・管理する為のKPIを以下の通り設定。</p> <p>KPIの進捗状況</p> <p>【気候変動】</p> <p>① 投融資ポートフォリオのGHG 排出量ネットゼロ NZBA の枠組みに則して、中間削減目標を策定し、順次公表。 2022年10月 電力セクター、 2023年2月 石油・ガスセクター、 2023年10月 不動産・海運セクター、 2024年3月 鉄鋼・自動車セクター</p> <p>② サステナブルファイナンス累計取組額 2025年3月末 5.3兆円(2030 年度までの累計取組額 15 兆円)</p>	<p>Content 【気候変動】 年々深刻化する異常気象や自然災害は私たちの命や暮らしを脅かしています。「託された未来をひらく」上で、気候変動問題は避けては通れない、最優先課題です。自社グループの脱炭素化に加え、信託の力でお客様の脱炭素化をサポートし、脱炭素社会の実現に貢献します。脱炭素社会の実現には多額の資金が必要となります。当グループは法人のお客様とのエンゲージメントや多様なソリューション提供を通じてお客様の脱炭素化を支援しながら、個人や機関投資家のお客様の資金を呼び込み、資金需要に応じていきます。カーボンニュートラル移行計画では、ガバナンスサーベイを中心とした各種サーベイを通じてお客様の現状と課題を把握した上でエンゲージメントを行い、TBFチームの有する知見やBreakthrough Energy、ECP、ERMといったグローバルトッププレイヤーとの協業も活用し、ソリューション提供や資金支援を行っていきます。</p> <p>【金融包摂】 少子高齢化の進展、インフレといった環境下、将来にそなえた資産形成の重要性はますます高まっています。また、政府が「資産運用立国」を掲げ、資産運用の機運も高まる中、当グループでは、多様なソリューションとアドバイザーを通じて、お客様の中長期的な資産形成をサポートしています。 資産管理 高齢化の進展に伴い、将来の資産管理に対する不安を抱えるシニア層のお客様や、そのご家族の安心・安全な暮らしをサポートするため、認知症等への備えとして有効な機能をワンパッケージにした信託商品の開発など、資産</p>

Principle 1: Alignment	Principle 2: Impact & Target Setting	Principle 3: Clients & Customers
	<p>【金融包摂】 高齢者金融包摂関連サービス件数 2025年3 月末時点の契約数 46千件(2030 年 3 月末時点において 53 千件)</p>	<p>管理サービスの充実、向上に努めています。 資産承継 高齢化や税制の変更などに伴い、次世代への相続・承継に関する悩みや不安が社会課題として顕在化しています。専門知識を持った担当者が、お客さまの円滑な資産承継をサポートしていきます。</p>
<p>Links & references [References to where additional information can be found in external reporting. Include links and page numbers,]</p> <ul style="list-style-type: none"> マテリアリティの定義と特定プロセス サステナビリティレポート 2024(p4-6) https://www.smtg.jp/-/media/tg/sustainability/report/2023/full/all.pdf 	<p>Links & references [References to where additional information can be found in external reporting. Include links and page numbers,]</p> <ul style="list-style-type: none"> 気候変動レポート2024/2025(p14) https://www.smtg.jp/-/media/tg/sustainability/report/2024/climate all.pdf カーボンニュートラルへの取り組み進捗(p25-31) https://www.smtg.jp/-/media/tg/news/202506/Project NetZero.pdf 	<p>Links & references [References to where additional information can be found in external reporting. Include links and page numbers,]</p> <p>【気候変動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 移行計画 気候変動レポート2024/2025(p10-11) https://www.smtg.jp/-/media/tg/sustainability/report/2024/climate all.pdf 具体的取組事例 カーボンニュートラルへの取り組み進捗(p25-31) https://www.smtg.jp/-/media/tg/news/202506/Project NetZero.pdf <p>【金融包摂】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者金融包摂関連サービスの取組 100年パスポートの概要(将来の認知症や健康の不安にも備えができる信託商品) 人生100年応援信託〈100年パスポート〉 資産管理・承継 三井住友信託銀行

<p>Principle 4: Stakeholders</p>	<p>Principle 5: Governance & Culture</p>	<p>Principle 6: Transparency & Accountability</p>
<p>Content 当グループは、受託者精神に立脚した高い自己規律に基づく健全な経営を実践することはもちろん、持続可能な社会の構築に積極的に貢献することが社会的な責任であると考えます。そして、事業活動が社会に及ぼす影響に十分配慮するとともに、お客さまをはじめとしたステークホルダーの抱える社会・環境問題の解決に向け、本業を通じて独自の価値を提供します。 当グループのステークホルダー・エンゲージメントは、テーマに即して当グループ各社の該当部署が直接対応するもの、国内外のイニシアティブに直接参画するもの、サステナビリティ推進部が自身のステークホルダーとの対話やESG評価機関などからの情報収集を踏まえ当グループ各社の該当部署と行うインターナル・エンゲージメントの3通りのアプローチがあり、対話チャンネルを多様化させ、インプットの質と量を高めています。</p>	<p>Content 当社では、サステナビリティ方針に基づき執行機関である経営会議がサステナビリティ推進に関する方針・戦略を協議・決定し、取締役会がこれを監督する体制としています。 監督機関である取締役会は、諮問機関としてリスク委員会を設置し、当グループのサステナビリティにかかる取組状況に関する審議等を実施して適切な監督を行っています。 執行機関である経営会議は、2023年度に、サステナビリティ課題への対応における所管各部との協議や、取組状況の報告を組織的に行うことを目的に、諮問機関としてサステナビリティ委員会を設置しました。同委員会は、サステナビリティ推進部統括役員(2024年度よりCSuO)を委員長、経営管理各部の統括役員を委員とし、当グループのサステナビリティへの取組状況の確認と、サステナビリティ推進に関する各種施策の審議を行っています。</p>	<p>Content 本報告は限定保証を取得していません。</p>
<p>Links & references [References to where additional information can be found in external reporting. Include links and page numbers,] <ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダー・エンゲージメント サステナビリティレポート2024(p7) https://www.smtg.jp/-/media/tg/sustainability/report/2023/full/all.pdf ・インターナル・エンゲージメント 統合報告書2025(p31) サステナビリティレポート2024(p7-10) https://www.smtg.jp/-/media/tg/sustainability/report/2023/full/all.pdf </p>	<p>Links & references [References to where additional information can be found in external reporting. Include links and page numbers,] <ul style="list-style-type: none"> ・サステナビリティガバナンス 統合報告書2025(p56-57) https://www.smtg.jp/-/media/tg/investors/disclosure/2024/all1.pdf ・サステナビリティ委員会開催件数(集計期間2024年1月～12月まで) 気候変動レポート2024/2025(p7) https://www.smtg.jp/-/media/tg/sustainability/report/2024/climate/all.pdf ・役員報酬 統合報告書2025(p84) https://www.smtg.jp/-/media/tg/investors/disclosure/2024/all1.pdf </p>	<p>Links & references [References to where additional information can be found in external reporting. Include links and page numbers,]</p>